

皆さんに支えられて30周年

川上澄生美術館

川上澄生美術館 ☎(62)8272



川上澄生とはどのような人ですか？

とても書ききれませんがすごい人でした。

澄生は明治28年に横浜で生まれました。青年時代はアラスカの鮭缶詰工場さけで働くというまれな経験をしたのち、宇都宮中学校（今の宇都宮高校）の英語の先生として働き、このときから本格的に木版画の制作に取り組みはじめます。

その後、芸術オリンピックで日本代表に選ばれたり、作品がパリ国立図書館に買い上げられたりと世界でも評価されました。戦後は宇都宮女子高校で働きながら、木版画を作り続けました。作品の数は分かっているだけで約3,000点。そのエネルギーに驚かされます。



▶昭和24年頃の川上澄生



◀川上澄生《へっぽこ先生》自らをそう称しました。



なぜ鹿沼に川上澄生の美術館ができたのですか？

澄生の作品が大好きな人がいたからです。

美術館が開館するきっかけは、鹿沼市出身で、宇都宮中学校時代の澄生の教え子である長谷川勝三郎はせがわかつさぶろうが集めた2,000点におよぶ作品の提供によるものでした。

美術館が開館してからは、名誉館長として力を尽くしました。



名誉館長時代の長谷川勝三郎▶



▲川上澄生《蛮船入津(群像図)》長谷川が大好きだった作品のひとつ



コソコソうわさばなし

美術館の電話番号は川上澄生の《初夏の風》にちなみ、下4桁が8272らしい。

今年30周年を迎える川上澄生美術館は、全国でも珍しい木版画を専門とする美術館です。

これまでに川上澄生の企画展を約80本開催し、全国から50万人以上の皆さんにお越しいただいています。

今回は皆さんに改めて美術館や30周年記念イベントについてご紹介します。





美術館の公募展はありますか？

鹿沼市川上澄生美術館
木版画大賞があります。

澄生の生誕100年を記念して創設された公立美術館としては、全国初の木版画を対象とした公募展です。

澄生の精神を受け継ぎ

「次代を担う木版画家を見出す」という目的の下、スタートした本展は、令和4年度で26回を迎えます。



▲田中陽子
《あなたなしでは生きられない》
第1回木版画大賞 大賞作品。



美術館の活動に関わりたいのですが？

友の会への入会やボランティアを随時募集しています。

友の会は、美術館の活動を支援する団体です。展覧会や公募展などのサポートや年2回の美術館ツアー、会報誌『林花居』の発行などを実施しています。

またボランティアは、展覧会での受付・監視のほか、式典やイベントの補助、音声ガイドの音声吹込などの活動をしています。

情報を募集中！
鹿沼と川上澄生の関わりを調べています

美術館では、新しい展覧会に向けて、鹿沼と川上澄生の関わりについて調べています。「川上澄生が家によく来ていた」とか「本人から作品（または資料）を譲ってもらったことがある」、などの情報がありましたら、ぜひ美術館までお寄せください。



30周年の目玉となる企画展はありますか？

「川上澄生の全貌」展を開催します。

本展では、30年間、積み重ねてきた美術館活動の成果のひとつとして、前・後期あわせて、約200点の作品を紹介いたします。栃木県立美術館や宇都宮美術館が所蔵する貴重な作品はもちろん、代表作《初夏の風》も特別展示。さらに《初夏の風》に影響を受けた棟方志功の作品も紹介します。

前期 9月10日(出)～11月27日(日)

後期 12月3日(出)～令和5年3月26日(日)

場所 川上澄生美術館 2階展示室

入場料 大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円、友の会会員無料



▲川上澄生《初夏の風》
棟方志功が版画に向かうきっかけとなった作品。

「川上澄生の全貌」展関連イベント

①開館30周年記念・来館者プレゼント

先着100人の企画展チケット購入者に、美術館オリジナルグッズの「しおり」をプレゼントします。

とき 9月10日(出)午前9時から

ところ 川上澄生美術館 1階受付

※なくなり次第終了します。

②「館長と楽しむ作品鑑賞会」

とき 9月10日(出)午後2時～2時30分

ところ 川上澄生美術館 2階展示室

参加費 無料

(ただし、企画展チケットが必要です)

③企画展記念講演会「川上澄生の総てを追って」

とき 9月24日(出)午後1時30分～3時

ところ 市民情報センター5階

マルチメディアホール

講師 小林利延氏

(文星芸術大学名誉教授・川上澄生美術館初代館長)

参加費 無料

申込 9月3日(出)午前9時から、電話で。

美術館

国体

地震対策／
地域のチカラ

健康増進
／戦争体験

文化祭／庁舎

アルバイト／
職員採用

総合計画⑤
／フラッシュ

市民のひろば

健康

お知らせ

民話めぐり